

区民文化祭参加者募集

10月・11月に開催する区民文化祭は、区民のみなさんが日頃の練習の成果を発表する場です。ぜひ、ご参加ください。※区民文化祭は、板橋区、板橋区文化団体連合会、(公財)板橋区文化・国際交流財団の三者による共催事業です。

問合
(公財)板橋区文化・国際交流財団
(〒173-0014大山東町51-1)
☎3579-3130

書道展

区民書道展

▶部門=1部…一般・大学生、2部…高校生、3部…中学生、4部…小学生 ▶対象=区内在住・在勤・在学中、アマチュアの方 ▶費用=1部…4000円、2部…3000円、3部・4部…1500円

開催日

▶とき=10月8日(木)~11日(日)

書家作品展

▶対象=区内在住・在勤で、書家・書道教育者など※アマチュアの方を除く。※未発表のものに限る。▶費用=5000円

開催日

▶とき=10月28日(水)~11月1日(日)

【A・Bいずれも】

▶ところ=区立美術館※出品者が搬入・搬出 ▶資料請求=8月5日(消印有効)まで、はがきで、板橋区文化団体連合会事務局(〒173-8501)※申込記入例(6面)の項目と作品の種類(AまたはB)、Aは部門も明記。▶申込締切=9月3日(必着)

ITABASHI音楽のつどい

▶内容=合唱・合奏・バンド演奏など※出演時間は15分以内 ▶対象=区内在住・在勤・在学中、区内で音楽活動をしている団体 ▶費用=1人300円 ▶申込=8月21日(消印有効)まで、はがきで、(公財)板橋区文化・国際交流財団※申込記入例(6面)の項目と団体名、発表内容を明記。



開催日

▶とき=11月22日(日) ▶ところ=区立文化会館大ホール

バレエ&ダンス秋の祭典

オーディション

▶とき=7月5日(日)14時から ▶ところ=区立文化会館リハーサル室 ▶部門=Aクラシックバレエ Bジャズダンス Cコンテンポラリー ▶対象=中学生以上で、Aトウシューズでの舞台経験がある方 B Cダンス経験が3年以上ある方。※出演を希望する方は、オーディションにご参加ください。▶審査=実技・集団面接 ▶資料請求=6月19日(必着)まで、はがきで、(公財)板橋区文化・国際交流財団※申込記入例(6面)参照※合格した場合は、参加費(2万5000円)・実費(衣装代など)が必要。▶申込締切=6月26日(必着)

開催日

▶とき=10月25日(日) ▶ところ=区立文化会館大ホール

日本趣味のつどい

▶内容=日本の古典芸能※出演時間は6分以内 ▶費用=1舞台3000円と出演者1人につき1500円 ▶申込=7月31日(消印有効)まで、はがきで、(公財)板橋区文化・国際交流財団※申込記入例(6面)の項目と演目(ふりがな)、出演人数を明記。▶問=板橋区日本趣味のつどい・若柳☎049-246-3783

開催日

▶とき=11月8日(日) ▶ところ=区立文化会館小ホール

日本民謡のつどい

部門

A個人…一般発表唄※出演時間は出入りを含めて2分15秒以内
B団体…a一般発表唄 b一般発表器楽※いずれも出演時間は出入りを含めて3分30秒以内

C幼児、小・中学生唄

※複数部門の参加可

▶対象=区内在住・在勤・在学の方※A・Bは中学生以下を除く。▶費用=A1000円 B1団体3000円 ▶申込=7月3日(消印有効)まで、往復はがきで、板橋区民謡連盟・鈴木弘(〒174-0063前野町5-36-5-303)※申込記入例(6面)の項目と部門(A~C、Bはa・bの別も)を明記。団体の場合は代表者分を記入し、参加人数を明記。

開催日

▶とき=11月15日(日) ▶ところ=区立文化会館大ホール



日本舞踊のつどい

▶内容=A日本舞踊(新舞踊・民踊を除く) B日本舞踊(舞踊小曲を含む)※出演時間はA20分 B10分以内 ▶対象=区内在住・在勤・在学の方※A大道具・かつら・衣裳代などの実費 B参加費5万円・衣裳が必要 ▶申込=7月31日(消印有効)まで、はがき・Eメールで、板橋区日本舞踊連盟・若柳華妙(〒173-0016中板橋30-1)、同連盟・若梢☐nihonbuyou.renmei.itabashi@gmail.com※申込記入例(6面)の項目と内容(AまたはB)を明記 ▶問=同連盟・若梢☎080-3734-0889

開催日

▶とき=11月3日(祝) ▶ところ=区立文化会館大ホール

合唱のつどい

▶内容=1グループ6分以内の合唱※伴奏はピアノなどの楽器による生演奏に限る。※指揮者・森永淳一による講評あり ▶対象=区内の合唱団体 ▶費用=1団体5000円 ▶募集要項などの配布場所=7月15日(水)まで、文化・国際交流課(区役所8階③窓口)・各地域センター・各区民事務所・区立文化会館・グリーンカレッジホール・各まなぼと・区立各図書館※郵送を希望する場合は、7月15日(必着)まで、はがきで、(公財)板橋区文化・国際交流財団※申込記入例(6面)参照 ▶申込締切=7月31日(必着)

開催日

▶とき=11月8日(日) ▶ところ=区立文化会館大ホール

謡曲と仕舞のつどい

▶対象=区内在住・在勤・在学の方※流儀は問いません。▶費用=1000円 ▶申込・問=8月29日(土)まで、電話・Eメールで、板橋区謡曲連盟・田辺☎090-1253-9907☐ugj70665@nifty.com※申込記入例(6面)参照

開催日

▶とき=11月14日(土) ▶ところ=区立文化会館第1・2和室

いたばし区民文芸

3月・4月分

歌壇 宇田川寛之選

▼天 草書体に空へのびゆく柳の芽風のまにまに春をつづりて 梨本卓也
▼地 六十路なる教え子達の集いなり悲喜刻まれて面影いずこ 伊藤圭子
▼人 百歳が拾万人も居る令和後と八年で俺も仲間だ 鈴木舜

▼評 天賞、柳の芽を草書体と喩えているのが良い。ゆったりとした春の余韻を感じさせる一首。地賞、教え子が六十歳ならば作者はそれよりずっと年上か。久しぶりの再会、歳月の重みにより面影は残っていない。人賞、九十二歳の作者。八年後を思い、今日も元気。「俺」が力強い。

俳壇 中村和弘選

▼天 催花雨や根上がり松を愛おしむ 菊地治子
▼地 眺め入る武将の手相端午の日 北嶋伸雄
▼人 花冷えや古き包丁研ぎにくし 大泉玲子
▼評 天賞、花の咲く頃降る雨に濡れている根上がり松が愛おしい。視点がよい。地賞、戦国の武将の手相、端午の日ゆえに眺め入る。男子の成長を祝う日だからこそ。人賞、古包丁ゆえに癖も多

川柳 尾藤川柳選

▼天 葉より効く嘘もあり救われる 鈴木晃
▼地 幸でなく不幸でもない翁さぶ 伊藤恭一郎
▼人 油断したトランプ後をどう捌く 鈴木舜
▼評 天、嘘も方便。人生には、生きた嘘と罪悪の嘘がある。嘘はいけない事だが、ある瞬間には、本当のことを凌駕することも。地、「翁さぶ」に過ぎず可否はあろうが、飾らない自分である事こそ真の姿。人、時事のコマ。イランへの軍事介入は相手を見誤った油断。その結果、関連国に「油断を引き起こしてしまふ。東西冷戦後の新しい枠組みは、我々にとってどんな明日が待つのか。

いずれも

▼申込・問=6月1日(必着)まで、はがきに部門(短歌・俳句・川柳の別)、作品(1人各部門1作品で未発表のもの)と必要事項(申込記入例6面参照を明記のうえ、(公財)板橋区文化・国際交流財団(〒173-0014大山東町51-1)☎3579-3130)※文字は楷書で丁寧に。漢字にはふりがなも明記。※入選作品の他誌への投稿はご遠慮ください。※令和7年度の入選作品集(A4判)を1冊100円で販売。希望する方は、直接、同財団。